

## 【2020年度学校健診後治療調査結果】

付属資料

期間：2021年2月10日～3月15日

方法：対象となる学校に調査用紙を送付

対象：県内の小中高・特別支援学校 444校

回答：205校（回答率 46.2%）

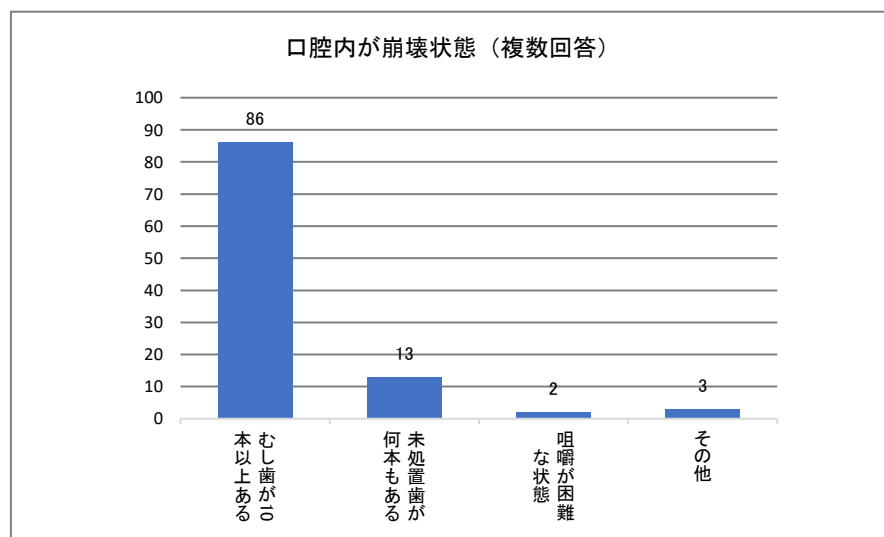
	健診人数	要受診者数	要受診者割合	受診人数	未受診者数	未受診者割合
歯科健診	57,461	19,511	34%	6,729	12,782	65.5%
眼科健診	55,398	3,152	5.7%	1,229	1,923	61%
視力検査	59,695	20,800	34.8%	7,647	13,153	63.2%
耳鼻科健診	31,828	4,664	14.7%	1,687	2,977	63.8%
聴力検査	43,477	482	1.1%	312	170	35.3%
内科健診	56,895	2,342	4.1%	1,081	1,261	53.8%

### ●歯科・口腔内が崩壊状態

無回答	いた	人数	いなかった
0	95校	238人	110校

### ●口腔内が崩壊状態の内容（複数回答・単位は校数）

むし歯が10本以上ある	未処置歯が何本もある	咀嚼が困難な状態	その他
86	13	2	3



### <口腔内崩壊状態の事例>

- 1) 要注意乳歯が5本あり、過剰歯、過蓋咬合と異常が重複している。
- 2) 昨年度も複数本未処置歯があり、改善されていない。
- 3) 歯肉炎、歯ぐきの腫れがひどい。
- 4) むし歯が10本以上あった児童のうち、2人は兄弟（兄弟2名のみ治療済み）。
- 5) 未処置歯の要注意乳歯が多く、歯肉炎もある。
- 6) 乳歯の未処置歯が11本ある。
- 7) 9本の子が1人います。コロナで虫歯が増加した気がします。
- 8) C7本、処置歯2本、喪失歯1本、未萌出歯が4本（先天性欠如）。
- 9) 2人（中3）とも、入学時から治療していない。
- 10) 2年生で4本→3年生で16本に増えていた。歯垢の付着も見られ、ブラッシング不足であることがわかる。
- 11) 未処置歯が多い生徒は、福祉事業対象の生徒だった。

●眼科・困難事例の有無

無回答	あり	人数	なし
1校	26校	301人	178校

●困難事例の内容(複数回答)

視力低下が多く座席配置に困る	眼鏡が壊れたまま修理していない	その他
11校	0校	13校

<眼科・困難事例>

- 1) 視力0.3以下が1年以上続いているが未受診。
- 2) 以前から視力低下が進んでいるが、受診勧告しても受診してもらえない。
- 3) 何度受診を勧めても受診しない。
- 4) 度数の合わない眼鏡をそのままにしている。
- 5) 視力がC、Dであるにもかかわらず、眼科医に経過観察と言われる児童も多く、座席配慮に困ってます。学級経営に影響あります。
- 6) C、D判定でも受診しない。
- 7) 何度受診を勧めても協力が得られない。
- 8) 合わないものをそのままにしている。
- 9) 受診及び購入に至らない。
- 10) 小学生の頃より視力低下 (C、Dレベル) が続いているが、一度も眼科を受診しておらず、眼鏡もない。
- 11) 困難事例として把握していないが、視力低下で未受診の生徒は多い。
- 12) 視力Dの児童が昨年度の5倍という結果が出た。休校になり自宅で過ごす時間も増えたが、テレビやゲームの時間が長時間であったり、近くのものばかり見ている生活も一因ではないかと考える。
- 13) 受診勧告に応じない。
- 14) 前から1列目か2列目にしてほしい、という生徒が席の数以上いる。
- 15) 眼鏡が合っていないのに、そのままの生徒が多い。
- 16) 視力B以下の生徒に受診のお知らせを渡している。
- 17) 何年も前から両目ともにD。ネグレクト疑いで受診・購入まで至らない。物を見るとき距離がとても近い。
- 18) 本校の眼科検診は校医さんのご意向で希望者のみの相談健診。色覚検査も希望者に対して視能訓練士が行っている。
- 19) 授業時、板書が見えにくい状況下でも放置している生徒が多く困る。
- 20) 生徒本人が家庭で眼鏡が合わないと訴えても、経済的な理由で受診や購入につながらない。

●耳鼻科・困難事例の有無

無回答	あり	人数	なし
3校	6校	50人	196校

●困難事例の内容(複数回答)

中耳炎を放置して耳垂れ	聴力低下放置で授業についていけない	その他
0校	1校	3校

<耳鼻科・困難事例>

- 1) 何度受診、治療をお願いしても未受診のままとなっている。
- 2) アレルギー性耳炎の疑いのため。
- 3) 保護者が病院受診の習慣がない。担任が受診するよう保護者に勧め、耳鼻科を受診したが、本人が診察を嫌がり診察できず。別日に違う病院で診察してもらった。
- 4) 受診勧告に応じず、耳鼻科校医との連携で養護教諭同伴受診した。

●内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目、運動器健診 保健室への相談、困難事例の有無

無回答	いた	人数	いなかった
4校	23校	93人	178校

●困難事例の内容(複数回答)

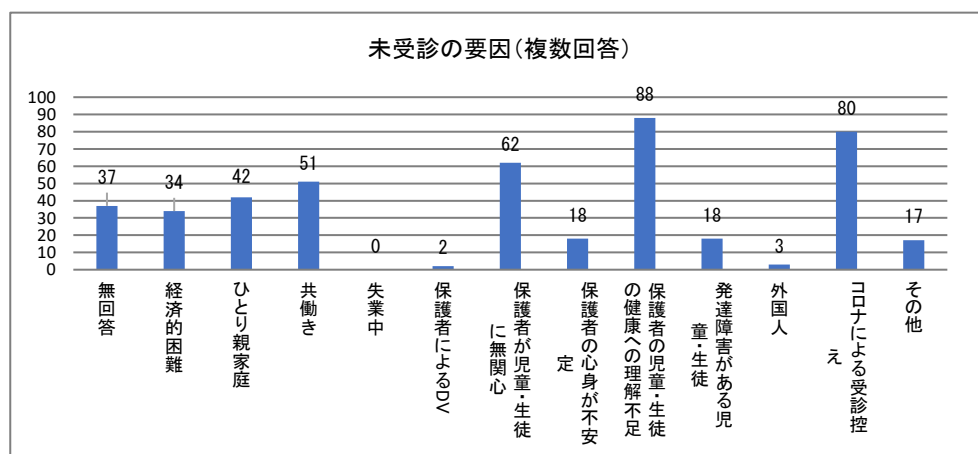
頭痛を訴え、頻繁に来室	脊髄側弯症が年々進行	アトピー性皮膚炎疑いで湿疹	心の問題を抱えている	不登校児／生徒の増加	肥満児／生徒の増加	低栄養児／生徒の増加	その他
1校	2校	12校	3校	9校	13校	2校	14校

<困難事例>

- 1) 心臓病の既往があり、健診で心雑音が確認されているのに何年も未受診のまま。アトピー性皮膚炎で通院もしているが、湿疹が改善しない。
- 2) 肥満度が高くても、血液検査のみで終わり、何の改善にもならない。また、肥満度が年々上昇。
- 3) 養育放棄の要素の強い低栄養。
- 4) 時々、胸の痛みを訴え来室する（保護者にも様子を伝え、病院受診を勧めるが、「大丈夫そうです」と受診しない）。
- 5) 低身長児童の受診のお知らせ。
- 6) 尿検査結果で要精検だが、保護者に伝えても受診する気がない。
- 7) 尿糖・尿蛋白が高値だが、本人の拒否感が強く受診できていない。
- 8) 糖尿病の既往があるが、コロナの影響もあってか1年近く通院（服薬治療も含む）していない。
- 9) アトピー性皮膚炎の疑いでひどい湿疹が出ているが、母親が処方薬に抵抗を示し、母親が認める化粧品会社の特定のクリームしか塗らせてもらえない。
- 10) 運動不足による肥満と思われる児童が、高学年男子に増えた。登校しぶりの児童が、今までも傾向はあったものの重症化した。
- 11) 高度肥満の保護者に受診を勧めているが、全く無関心な様子。市の保健師とも連携し、アプローチしているが進展なし（肥満のほか、中耳炎、むし歯も通院・治療をしていない）
- 12) 学校医と相談したうえで、肥満度40%以上の児童11名に受診のお知らせをしましたが、受診報告が学校に届いたのは2名のみです。低身長については対象児童4名のうち、5名は定期通院中ですが、他2名は未受診です。
- 13) 不登校生徒は健診を受けさせるのが困難なため、未受診の項目が多い。健康管理上、心配なところもある。
- 14) 低身長：本人は受診したいのに、母の都合で受診のタイミングが1年遅れた。本人は鬱のようになり不登校となっている。
- 15) 困難事例はないが、不登校生徒がやや増加。

●未受診の要因(複数回答・単位は校数)

無回答	経済的困難	ひとり親家庭	共働き	失業中	保護者によるDV	保護者が児童・生徒に無関心	保護者の心身が不安定	保護者の児童・生徒の健康への理解不足
37	34	42	51	0	2	62	18	88
発達障害がある児童・生徒	保護者が外国人	コロナによる受診控え	その他					
18	3	80	17					



＜未受診の事例＞

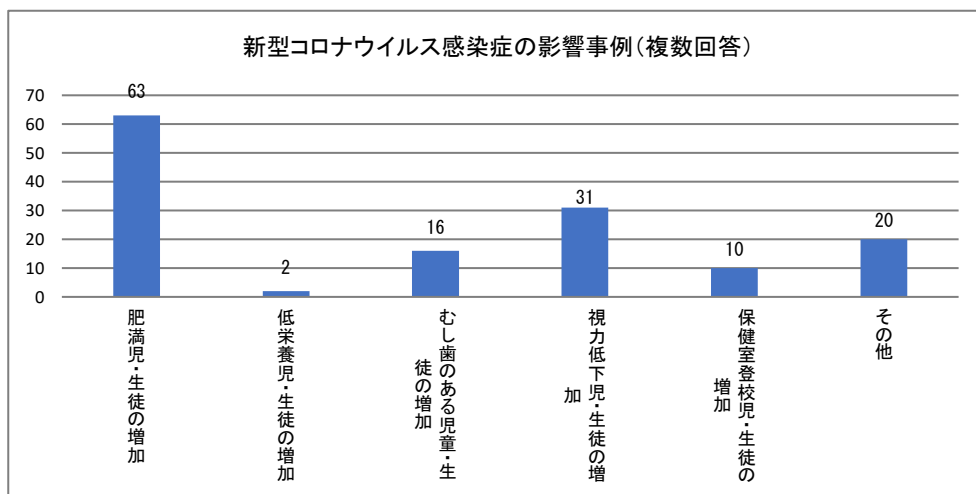
- 1) 気仙沼市立病院にしか耳鼻科がなく、日常生活に困難を児童が感じていないため受診しないと思われる。
- 2) ネグレクト傾向。
- 3) 保護者が自動車免許を取得していない。
- 4) 保護者が多忙。
- 5) 共働き家庭が多く、診療時間内の通院が困難になっている。
- 6) 軽度の異常の場合は、受診せず様子をみている。
- 7) 受診勧告書が保護者の手に渡っていない可能性大。
- 8) 部活動や塾通い等で、病院の受付時間内に行くことが難しい。
- 9) 保護者に障害があり理解力不足、伝え方不足。
- 10) 親子の都合が合わない。
- 11) 親との時間の都合が合わず行けなかった等。
- 12) 通院時間の確保。例年より健康診断実施日が遅くなったことも関係する。
- 13) 塾や習い事、部活動を優先し、受診する時間が取れない。
- 14) 保護者の時間調整ができない。
- 15) 保護者の仕事の都合で休みが取れず、病院受診に連れていけない。

●新型コロナ影響事例

無回答	あり	人数	なし
3校	91校	699人	111校

●新型コロナの影響内容(単位は校数)

肥満児・生徒の増加	低栄養児・生徒の増加	むし歯のある児童・生徒の増加	視力低下児・生徒の増加	保健室登校児・生徒の増加	その他
63	2	16	31	10	20



＜新型コロナの影響事例＞

- 1) 骨折の増加。
- 2) 歯磨き不良の児童の増加。
- 3) 長期休校による運動不足や体位の伸びによる体のバランス感覚がうまく取れず、再開後の1カ月間に骨折が6件続いた。
- 4) 不登校の増加、ネット依存症疑いの増加。
- 5) 歯垢付着、歯肉炎の児童が増えた。
- 6) 怪我の増加。
- 7) 別室登校、不登校。

- 8) コロナ以外にも関連していると思われるので、人数ははっきり書けません。その他の例は別室登校児童の増加、昼夜逆転。
- 9) 受診率の低下。
- 10) 怪我をしても病気になっても受診しない（病院に行って新型コロナウイルス感染症がうつったら…と言われる）。すぐに体調不良を理由に欠席するようになった。
- 11) ゲーム依存症。
- 12) 不登校傾向児童の増加。
- 13) むし歯が増えたり、体重が増加したりした生徒が数名いましたが、新型コロナの影響と断定できないところもあります。
- 14) 影響があると断定はできませんが、別室登校や不登校。
- 15) 夜更かしから生活の乱れ、筋力低下。
- 16) 運動不足による怪我の増加。
- 17) 不規則な生活による体調不良。摂食障害疑い。
- 18) 頻回来室。
- 19) 感染不安で不登校。体育の授業で怪我が増加。
- 20) 運動不足による体育での怪我の増加。受診する生徒が増えました。13人というのは、スポーツ振興センターに申請した生徒数です。

### ●本調査の感想、書ききれない事例など

- 1) 歯科等は毎年同じ児童が受診せずむし歯を深くし、痛くなってから受診するケースがある。アレルギー性結膜炎等は季節的なものにとらえがちな保護者がいる。明らかに肥満でもお医者さんが遠慮するのか、何も言わない（肥満度等を健診時に示しても）。そのまま次の人に行ってしまうことがある（子どもが目の前にいるから言えない?）。
- 2) コロナ禍で臨時休校中、歯科医院を受診した児童が多く、むし歯保有率がだいぶ下がりました（3年間で70%→40%）。仕事で保護者が忙しくなると、受診率が下がると思います。
- 3) 調査結果についてお知らせいただけると幸いです。
- 4) 市教委の配慮で、ディスプレイの健診器具を使用するなど、安全に健診を行うことができた。しかし、要受診の場合、病院受診に対して、怖いイメージを持つ家庭はある（病院に行ったらコロナに感染するのではないか）。コロナにかかわらず、心の問題が増加している。不登校につながる場合も多い。SSW+SCの勤務日数を増やしてもらえると、とてもありがたい。子どもや家庭の心の問題に対応するためには、専門家の力が重要だと年々感じるが増えてきた。また、児童精神医療も同時に増やしてほしいと思う。
- 5) コロナでネットゲームにはまる児童が増し、生徒指導（いじめ）が増えた。また、依存症に近いと感じる児童も多くなる。視力低下の原因でもあると思われる。
- 6) 乳歯の虫歯、耳垢など軽度のもは受診が遅れているが、再度勧めたい。
- 7) 一斉休校後の学校再開時に調査した心身の健康調査・家庭での様子では、なかなか眠ることができない子や夜尿するようになった子もいました。運動不足の影響か、学校再開直後～3カ月程度は、転倒による怪我がとても多かったです。また、スポーツ振興センターやPTA安全互助会の対象となる怪我（骨折等）も昨年度の2倍を超え、子どもたちの落ち着きのなさや体力面の低下を実感しました。
- 8) 栗原市子ども医療費助成制度により無料で医療を受けることが可能であるため、治療状況は良好です。眼鏡については、保険対象外のため、経済的に苦しい家庭は購入がすぐできず、学習や生活上我慢を強いられる児童も中にはいます。保険適用可能な眼鏡があるといいと思います。
- 9) 医師の学校への理解が不足していると感じます。保護者が「受診しなくてもよかったのでは？」と感じる対応で、次回受診につながらないケースも見られます。何度も話をし、ようやく受診したものの、そのまま様子をみていい、となると…（肥満度40%以上だったり、視力C・D）。「異常なし」ならいいですが、そうでないならば次につながる対応をしてほしいです。
- 10) 困難事例とは、何をもちいて困難なのかが分かりませんでした。
- 11) 子ども医療費助成制度により医療費がかからないため、あまりひどい状況はみられないように思う。ただ、受診に時間をとられることに難色を示す家庭はあり、そのために受診が遅れるという例はある。
- 12) 肥満20%以上の割合が、令和元年度6.9%、令和2年度10.3%とかなり増加しました。10%以上になったのは15年ぶりです。
- 13) 外食機会が減って肥満傾向が改善した子が10名以上いる。また、習い事が減り、親も家にいるのでみんなで食卓を囲むおかげでやせすぎが改善した子が20名以上いる。コロナによって改善したことも少なくない。多くの子どもにとって、大きな悪い影響は見えない。ただし虐待傾向の親は心配。PCR陽性の家族があったときには、いじめや不安を心配する事例があった。
- 14) 医療費が無料（中学生）でも、受診しない方がいます。
- 15) 富谷市では子育て医療制度があるので初診500円で、その後は手出しがないのだが、時間をとれずにいる家庭が多い。
- 16) 昨年度本校の未処置者の割合は6.71%でしたが、今年度は16.58%と増加しています。学校は市の中心に位置し、受診環境も家庭環境も恵まれていると思います。親の意識も高く、子どもの教育に熱心なご家庭が多いところ。例年にないくらいの未処置者の多さに、常時マスク着用やコロナ不安による受診控えがあったのかもしれないと思っています。
- 17) 視力・歯科については全員に通知しています。歯垢、歯肉の状態而要観察であっても、積極的に受診されています。

- 18)今年度は視力低下がとても多く感じます。今まで視力AやBだった生徒が急にCやDに落ちるケースが多かったです。コロナで自宅で過ごす分、パソコン、スマホ、ゲームをする機会も増え、心配しているところです。
- 19)受診報告書提出者の数だけですので、もっと多くの生徒が受診しているかもしれません。
- 20)肥満の生徒が増加したので個別に対応したいところですが、健診の時期が遅かったことと、コロナ対策のため、思うように指導できませんでした。
- 21)未受診者がいて困難なケースとまではいかないが、すぐに受診しない家庭の多くは、親が働いていて時間のある時に受診させることが挙げられる。山間部の学校につき、近くに病院がないため。今年はコロナもあり、様子を見て受診したいという雰囲気もありました。
- 22)設問1で「医療機関を受診した生徒数」欄に記入した人数が少ないが、受診しても「受診結果報告用紙」を提出しない生徒もいるので、実際は+αの受診数と考えている。
- 23)新型コロナウイルス感染症の影響だけではないかもしれませんが、肥満傾向生徒の割合が、3年生男子が約7%、2年生女子が約5%増えました。
- 24)本校では幸い困難事例はないが、これまで本人や保護者の多忙さ（部活動、塾、仕事など）が優先されて、受診がすすまない事例もあった。
- 25)栗原市の医療費が18歳まで無料にもかかわらず、受診していない生徒がいる現状は、本人・家族の意識の低さや、あえて治療に行かなかった等、様々な理由があるようです。今年度は、コロナ禍での病院受診を積極的に勧告することも考えてしまう現状がありました。
- 26)本校は保護者の経済状況が非常にいい学校で、校納金の未納及び生活保護世帯が0となっており、改善要望データ校の対象には当てはまらないと思います。
- 27)新型コロナに伴う受診控えの影響が大きく、本人は受診したいが親や祖父母に連れて行ってもらえないという話を多く聞きました。
- 28)新型コロナウイルス感染症を心配し、健診を拒否する生徒が複数名いた。
- 29)7.の補足になりますが、視力低下により眼科受診はしたものの、コンタクトレンズを初めて作る人には感染予防の観点から、ケアの方法や装着、外し方などの指導が困難なため作成できない、と言われたため、矯正具を作れませんでした。また、新一年生は、入試後の受診が難しかったようで、視力低下している生徒の数が例年より多かったように感じています。
- 30)今年度は、新型コロナウイルス感染症による健診実施時期の遅れや個別面談を控えたこと、受診控えもあり、受診率が例年よりも低くなっています。
- 31)質問7について、新型コロナとの関連性は不明だが、不登校（それに近いものも含む）や転学（通信制等へ）が今年度は多く見られた。
- 32)新型コロナウイルス感染症を心配し、健診を辞退する生徒が多かった（特に歯科）。
- 33)○今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で健診が延期になり、その後の日程調整も難しい状況で、実施にあたって感染対策など学校側も校医の先生方も負担が大きかったです。  
○治療していても受診報告書を提出していない家庭も多いと思います（特に歯・視力）。
- 34)新型コロナウイルス感染症対策のため、各健康診断の実施が例年より遅れてしまったことにより、受診報告書の提出期間が短くなっている。そのため、受診中の生徒や長期休みを利用しての受診者もいるため、受診報告書の未提出が多い。
- 35)むし歯の多い児童がおり、歯科健診の受診勧告を受け取るのが嫌で、健診日にわざと欠席させる親がいます。歯科受診を勧めても受診してくれません。
- 36)本校の児童生徒は全員宮城県立こども病院に入院しており、状況が異なります。今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、面会や外出の制限がありますが、病院で健康管理はされています。また、転出（退院）が多いこともあり、受診の確認ができないことも多くなっています。
- 37)発達障害の子どもや親が受診しやすい環境の整備をお願いしたい。受診したくても受けられない現状がある。受診しても検査不能の判定で経過観察になる。
- 38)健診日の欠席者が校医の先生の病院に保護者同伴で行き、健診していただけることになっているが、行ったことのない病院には入れない人も多い。かかりつけ医に学校から連絡を入れてお願いすることが何度かあったので、健診未受診者が年度内にどうにか受診できるよう配慮したい。